



平成 27 年 7 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 マルイチ産商
代表者名 代表取締役社長 藤沢 政俊
社長執行役員
(コード番号 8228 名証第二部)
問合せ先 取締役執行役員 渡辺 文明
企画・管理部門担当
TEL 026-285-4101 (代表)

信田缶詰株式会社の株式取得及び第三者割当増資引受（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 7 月 24 日開催の取締役会において、信田缶詰株式会社（本社／千葉県銚子市）の株式取得及び同社の第三者割当増資を引受け、連結子会社化することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式取得及び第三者割当増資の理由

当社は中期経営計画において、商品企画から原材料調達まで主体的に関わることで付加価値を高めた開発商品を販売する「メーカー型卸」として、川上から川下に至るバリューチェーンの構築を戦略課題に掲げ、多様な業種・業態向けの商品開発及び販売拡大を進めております。

今回、当社が缶詰メーカーである信田缶詰株式会社を連結子会社化することで、主要産地でフルアソート調達した原材料を用いた水産缶詰、水産加工品（レトルト食品等）を同社と開発し、販売拡大を図るなど、中計戦略課題の具現化に向けた取り組みを一層加速させるものです。

信田缶詰株式会社は、水産缶詰・びん詰及び水産加工品の製造・販売を手掛ける水産品加工業者で、明治 38 年の創業以来、110 年間に亘り、全国一の水産物の水揚げ数量を誇る銚子地区において長年の業歴と伝統、営業基盤を築いております。特に缶詰分野においては、国内でも高い知名度を有しております。なお、同社は、平成 22 年 5 月に当時の経営難から民事再生計画の認可を受けた経緯があり、また翌年に発生した東日本大震災の影響もありましたが、債権者の皆様始め、関係各位のご理解とご協力を得ながら、平成 25 年に同再生手続が終結しております。その後、更なる経営安定化に向けてパートナー企業を探していたところ、当社との戦略が一致し、今回の子会社化に至ったものです。

2. 異動の方法

当社は、平成 27 年 8 月 24 日付で信田缶詰株式会社の発行済み株式 673 株のうち、既存株主から 198 株を取得する予定です。また、同日付で信田缶詰株式会社が実施する第三者割当増資において 927 株を引き受ける予定です。これにより、当社は信田缶詰株式会社の株式を 1,125 株（70.3%）取得することとなり、信田缶詰株式会社は当社の連結子会社となる予定です。

3. 異動する子会社の概要

名 称	信田缶詰株式会社	
本店所在地	千葉県銚子市黒生町 7400 - 7	
設 立	昭和 30 年 4 月	
資 本 金	33,650 千円（平成 26 年 8 月末現在）	
主要株主及び 持株比率	(有)丸栄商事 14.86% (有)常陸水産 14.71% その他 5 社 70.43%（5 社合計）	
事 業 内 容	水産缶詰・びん詰、その他水産加工品製造	
当該会社の直近の 経営成績及び 財政状態 (平成 26 年 8 月期)	純 資 産	△1,340 百万円
	総 資 産	693 百万円
	売 上 高	1,363 百万円
	経 常 利 益	△102 百万円
	当期純利益	315 百万円
代 表 者	代表取締役社長 信田 裕輔	
従 業 員 数	122 名（正社員 29 名、パート 93 名）	
発行済み株式数	673 株	
当社との関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	当社グループと当該会社との間には、 営業上の取引関係があります。

4. 日程

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| (1) 取締役会決議 | 平成 27 年 7 月 24 日 |
| (2) 株式譲渡契約締結及び第三者割当増資引受契約締結日 | 平成 27 年 8 月 18 日（予定） |
| (3) 株式譲渡契約及び第三者割当増資引受実行日 | 平成 27 年 8 月 24 日（予定） |

5. 業績への影響

信田缶詰株式会社は、平成 26 年 8 月期決算において当期純利益 315 百万円を計上しておりますが、これは、民事再生に関わる債務免除益が主要因であり、今後においては、同債務免除益は当社との連結決算処理において消去されることから、本件が平成 28 年 3 月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。

以上